

第 2 期南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～令和 5 年度末実績報告について～

I 第2期南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略

南陽市は、北部に丘陵、南部に沃野が広がり、米・野菜・果樹（ぶどう、さくらんぼ、ラ・フランス等）などの栽培にも適した風光明媚な自然環境に囲まれています。また、開湯920年余の伝統ある赤湯温泉、1,200年以上の歴史を誇り、あらゆる命を生み出し育む「むすひ」の神様をお祀りする熊野大社、郷土の民話を伝える「夕鶴の里資料館・語り部の館」、第15代日本銀行総裁等を歴任した結城豊太郎先生の遺品や文化財等を展示する「結城豊太郎記念館」や国指定史跡「稻荷森古墳」、全国一の文化と技を誇る「南陽の菊まつり」等の歴史と文化に彩られ、観光資源にも恵まれたまちです。さらに、全国初の大型木造耐火の文化ホール「南陽市文化会館」が開館したことで、新たな交流人口も見られます。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行は、人や社会のありかたに大きな変革をもたらしており、今後は「新たな日常（ニューノーマル）」を意識した施策が必要であるとともに、感染症を契機として高まっている地方への関心を地方創生に繋げるため、人や仕事を惹きつける魅力的な地域づくりの実現が強く求められています。

II 基本目標

第2期南陽市総合戦略では、人口ビジョンによる人口の将来展望の実現を目指すとともに、前述の南陽市の現状や特徴を踏まえ、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が定める目標を十分に勘案し、以下の4つの基本目標を定めます。

- | |
|--|
| <p>基本目標1：稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする</p> <p>基本目標2：南陽とのつながりを築き、南陽への新しい人の流れをつくる</p> <p>基本目標3：結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる</p> |
|--|

なお、施策の実施にあたっては周辺地域と連携を図り、これまで以上に自主的・主体的に地方創生に取り組みます。また、Society5.0やSDGsなどの新しい概念を積極的に取り入れ、多様な人材の育成と活用を図りながら、「新たな日常（ニューノーマル）」の構築を進めます。

基本目標 1

稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値	目標値	前々年実績	前年実績	直近実績	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
1	製造業の従業者数(従業者4人以上の事業所)	R3～R7平均値	3,241 人 (R1)	3,241	3,161 (R2)	3,093 (R3)	3,057 (R4)	3,104	95.8%	(R4)山形県:98,272人、米沢市:11,457人、高畠町:3,131人、長井市:3,124人
2	新規就農者数	R3～R7累計値	31 人	30	(R3) 11	(R4) 10	(R5) 19	40	133.3%	(R4.6～R5.5)山形県:378人(自営199、雇用179)
3	従業者一人あたりの製造品出荷額等	R3～R7平均値	1,705 万円 (R1)	1,800	1,812 (R2)	1,672 (R3)	1,815 (R4)	1,766	98.1%	(R4)山形県:3,077、米沢市:4,670 高畠町:1,736、長井市:1,691
4	農業総生産額	R3～R7平均値	4,250 百万円 (H29)	4,463	4,025 (H30)	4,088 (R1)	4,210 (R2)	4,108	92.0%	(R2)米沢市:3,673、高畠町:4,215、長井市:2,029

〈総括〉

新規就農者数については、令和5年度は非農家出身の新規参入者が多く、自営就農(10名)・雇用就農(9名)とも大きく増えたことで数値が伸びた。

その他の項目は、雇用統計等の各種統計資料によるものであり数年遅れての実績となるが、農業総生産額については、高単価であるシャインマスカットの生産拡大が図られており、一定の伸びが見られたものと推察される。

また、製造業の動向として、生産性を向上させるために、ロボットや自動化装置の導入、生産ラインの効率化などの設備投資が行われており、結果として生産量の増加や労働時間の短縮などの生産性の効率化が図られ

「製造業の従業者数の減少」や「従業者一人あたりの製造品出荷額の増加」につながっていると推察される。

【施策① 企業活動、企業立地への支援】

産業の活性化を推進し、就業者の定住を促進します。新たな企業・産業の振興のため、産業団地の整備や企業の移転を推進します。

〔KPI〕

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
5	新産業団地の整備	R3～R7累計値	0 箇所	1	0	0	0	0	0.0%	
6	本社機能移転企業数	R3～R7累計値	1 社	1	0	0	0	0	0.0%	

〈具体的事業〉

優良企業誘致推進事業、企業交流振興事業、本社機能移転奨励事業、産業団地整備事業ほか。

〈総括〉

新産業団地については、候補地が新たに土砂災害警戒区域に選定されたことなどにより、計画策定に着手できていない。

【施策② 就業の機会や人材育成への支援】

地域産業を支える人材を掘り起こし、地元企業等への就職につなげるため、若者・女性等の新規就業、Uターン就業等の機会の提供を推進します。また、専門的な人材の確保と育成により、地元産業の振興や人材の定着を図ります。

〔KPI〕

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
7	インターンシップ体験者の就職者数	R3～R7累計値	30 人	35	0	0	0	0	0.0%	
8	市主催の就職面接会による就職者数	R3～R7累計値	12 人	50	16	21	14	51	102.0%	

〈具体的事業〉

奨学金返還支援事業、インターンシップ促進事業、人材確保定着事業ほか。

〈総括〉

インターンシップ交通費助成金の交付は7件あったが、インターンシップが単なるアルバイト感覚で捉えられ、就職活動に繋がる貴重な経験として認識されていないことにより、就職まで至っていないケースが多い。

就職面接会については、企業側の採用意欲は強く、参加企業・参加者も増加している。

【施策③ 企業の機械の創出、支援】

地域資源・産業を活かした企業を促進するとともに、先端技術の活用や専門人材の確保・育成により、新たな産業の振興を図ります。

[KPI]

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
9	市支援の新規創業者数	R3～R7累計値	0 件	15	5	5	5	15	100.0%	

〈具体的事業〉

創業者支援事業ほか。

〈総括〉

新たな雇用や産業の創出のため、市商工会と協力して250万円を新規創業者に支給した。

【施策④ 販路拡大や6次産業化等による農林業の活性化】

南陽の「んまい(方言:おいしい)」もの、地産地消の推進を図るとともに新たな発想による地元農産品の販路拡大や6次産業化等により消費拡大を図り、農林業の活性化を推進します。

また、従来の森林整備及び保全に加え森林経営管理制度を活用し、林業の活性化を推進します。

[KPI]

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
10	新規ぶどう生産者数	R3～R7累計値	17 人	5	5	2	7	14	280.0%	
11	間伐材搬出量	R3～R7平均値	1,015 m ³	1,100	372	197	1,478	682	62.0%	
12	イノシシの捕獲頭数	R3～R7累計値	328 頭	750	191	84	172	447	59.6%	

〈具体的事業〉

新規就農者支援事業、耕作放棄地等再生支援事業、森林整備地域活動支援事業、獣害対策事業、林地施設整備事業、地域おこし協力隊(獣害対策事業)ほか。

〈総括〉

新規ぶどう生産者数については、自営(3名)・雇用就農(4名)とも数値が伸びた。近年、大粒系ぶどうが高単価で取引されている状況もあり、ぶどう栽培を目指す新規就農者の増加につながったものと推察される。

間伐材搬出量については、やまがた森林と緑の推進機構(旧林業公社)による長期計画的な間伐実施により実績値が増加した。

イノシシの捕獲頭数については、猟友会と連携した取り組みや電気柵の設置等の推進等により、適切に対処し農作物の被害防止に繋がった。

基準値と比較して大幅に少ない理由として、前年度に豚熱の蔓延により個体数が減少した反動とみられる。イノシシの繁殖能力は旺盛であり、引き続き捕獲、防除、環境整備の三側面からの対策を継続する必要がある。

基本目標 2

南陽とのつながりを築き、南陽への新しい人の流れをつくる

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
13	南陽市公式LINE登録者数	単年	1,830 人	10,000	9,438	10,083	10,287	10,287	102.9%	
14	年間観光客数	単年	963,000 人	1,000,000	668,197	911,712	1,067,449	1,067,449	106.7%	(R4)米沢:2,834,800、高畠:823,000、長井:949,800

〈総括〉

行政や観光、ワクチン等の積極的な情報発信により、南陽市公式LINE登録者数は大きく伸びた。

年間観光客数については、コロナ前の観光客数を上回る実績となり、増加傾向である。中でも、赤湯温泉、烏帽子山公園、熊野大社への観光客数の増加に加え、湯こっと利用者数も順調に増えている。

【施策① 観光向けイベント・ツアーの展開】

広域的な取組を行い、民間と連携して地域の良好な資源を活用した魅力的なイベント・ツアーを開催し、四季を通じた観光客の誘致を図ります。

多彩な農業や美しい森の資源を活用して体験型交流活動を展開し、1次産業の活性化と環境の保全を図ります。

【KPI】

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
15	桜・バラ・菊のイベント等参加者	単年	207,328 人	220,000	94,798	189,629	171,364	171,364	77.9%	桜祭り R4:130,395⇒R5:108,632 菊祭り R4:48,204⇒50,762
16	森林づくり参加者	R3～R7平均値	3,157 人	3,100	2,094	3,941	2,647	2,894	93.4%	バラ祭り R4:11,030⇒R5:11,970
17	DMOの旅行業等による売上額	単年	26,291 千円	107,353	23,364	31,497	20,640	20,640	19.2%	
18	DMOの旅行商品催行数	単年	161 件	441	512	417	291	291	66.0%	
19	DMOの取扱いによって宿泊を伴う旅行をした人数	単年	239 人	579	54	264	295	295	50.9%	
20	DMO会員数	単年	52 件	189	69	73	73	73	38.6%	

〈具体的事業〉

桜・バラ・菊祭り等の開催(支援)事業、企業の森づくり事業、地域連携DMOを中心とした観光地域づくり推進事業ほか。

〈総括〉

桜・バラ・菊のイベント等参加者数については、桜まつり参加者が開花時期や天候の影響で前年度より減少したが、バラ・菊まつりの参加者は微増している。

森林づくり参加者数については、農業祭での森林・木育コーナーの出展など開催方法を工夫したが、暑さの影響や部活・イベントの復活等もあり前年度より減少した。

DMOについては、2市3町(南陽、長井、白鷹、飯豊、小国)の取組であり、2年前の豪雨災害の影響が続き主力商品である「水陸両用バス」の運行が減少したが、滞在交流を伴った旅行商品が増加したことに伴い参加者も増加している。

【施策② 南陽市の魅力発信による観光推進】

戦略的な誘客プロモーションを展開して、広域的な連携を行い、国内のみならず、外国人観光客の誘致を推進し、観光客の増加を図ります。

高齢者、障がい者にも配慮した、「おもてなし」観光を推進し、「おもしろな(方言:ありがとう)」の声あふれるまちづくりを行います。

【KPI】

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
21	外国人宿泊者数	単年	1,172 人	1,200	0	213	970	970	80.8%	県(R4)21,860人 (R3)8,680人 (コロナ前:R1)184,760人
22	車イス補助具利用者数	単年	57 人	100	61	13	11	11	11.0%	

〈具体的事業〉

外国人観光誘客事業、南陽市の魅力発信による観光振興事業、障がい者観光促進事業ほか。

〈総括〉

外国人宿泊客数については、コロナ禍を抜けインバウンドの動きが活発化しているため増加している。

車イス補助具利用人数については、熊野大社及び赤湯温泉観光センターに補助具を設置しており好評であるが、市外で補助具を借り市内観光で利用する方が増えていることにより、減少傾向にある。

【施策③ 移住・定住や関係人口の創出】

移住・定住や関係人口の創出に向けた交流の機会を創出し、多様な世代が暮らしやすいまちづくりを推進します。

また、地域おこし協力隊を採用し、地域の活力を高めるとともに、様々な情報手段の活用やふるさと納税の推進により、市内外に向けて地域の魅力を発信します。

【KPI】

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
23	Uターン定住世帯(子育て世代定住促進交付金による)	単年	2 件	4	1	0	1	1	25.0%	
24	ふるさと納税申込数	単年	30,016 件	36,000	34,200	34,060	38,978	38,978	108.3%	(R5)1位 上山:442,728、10位 長井:79,599、13位 米沢:42,646、15位 南陽市
25	県外からの新規移住者世帯数	R3～R7平均値	6 世帯	9	12	8	12	11	118.5%	
26	移住相談窓口(市)への年間相談件数	R3～R7平均値	42 件	50	62	147	152	120	240.7%	
27	地域おこし協力隊の定住数	R3～R7累計値	2 人	5	0	0	2	2	40.0%	
28	地域おこし協力隊の新規採用隊員数	R3～R7累計値	3 人	10	3	2	2	7	70.0%	
29	おためし地域おこし協力隊(地域おこし協力隊インターン)の参加人数	R3～R7累計値	0 人	15	1	0	3	4	26.7%	

〈具体的事業〉

子育て世代定住促進交付金事業、ふるさと納税事業、移住定住推進事業、地域おこし協力隊事業、おためし地域おこし協力隊(地域おこしインターン)事業、故郷未来プロジェクト事業ほか。

〈総括〉

各種移住定住施策の取組をはじめ、東京での移住関係イベントに参加したことなどにより、移住関連の数値は概ね順調に推移している。

ふるさと納税申込数については、新規受付サイトの追加、寄附募集ページの内容充実、広告・PRプランの利用、返礼品の新規開拓・充実等により基準値を上回っている。

【施策④ 人材の育成と交流の推進】

中高生や若者の地域活動の支援等を通じて、地域づくりの中心となる人材を育成します。

また、人が集まり、交流できる場所を整備することで、世代を超えた人々が繋がり、地域が活性化するきっかけをつくります。

【KPI】

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
30	事業を通じて実施した地域活動の取組数 ※山形県立南陽高校との連携事業	R3～R7累計値	0 回	25	9	12	21	42	168.0%	
31	温泉利用型健康増進施設の利用者数	単年	146,336 人	159,106	0	178,456	236,492	236,492	148.6%	
32	温泉利用型健康増進施設(バリアフリー浴室)の利用者数	単年	0 人	1,035	0	342	723	723	69.9%	

〈具体的事業〉

魅力ある高校教育支援事業(地域×高校魅力化みらいプロジェクト)、温泉利用型健康増進施設整備事業ほか。

〈総括〉

事業を通じて実施した地域活動は、魅力ある高校教育支援事業の成果指標として、南陽高校と連携した取組数を計上している。

南陽高校との探究の授業における連携や南陽高校市役所部の活動をはじめ、警察署とのヘルメット着用向上ワークショップや選挙啓発活動、ふるさとCM大賞への応募、ワインラベルのデザイン、地域雇用活性化事業への参加、南陽青年団とのワークショップやさくら祭への参加、放課後子ども教室での協働、南陽市民大学講座のアシスト、南陽みらい議会など、幅広い分野で多くの関わりを持ち、地域づくりの中心となる人材の育成を図った。

温泉利用型健康増進施設の利用者数については、令和4年度に「赤湯温泉 湯こっと」が開業し、市民のみならず市外の方や観光客など幅広い利用があったことから、目標値を大幅に上回った。バリアフリー浴室の利用者数について、リピーターが増えていることにより利用者数も増加しており、障がいのある方も温泉を楽しんでもらえる場として大変好評いただいている。

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望を叶える

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考	
33	合計特殊出生率	単年	1.46	-	1.65	1.52	1.41	1.23	1.23	74.5%	(R4)山形県全体:1.32、米沢市:1.24、長井市:1.17

〈総括〉

令和4年度の合計特殊出生率において、全国(R3:1.30→R4:1.26)同様、本市も数値は下がり、コロナ禍の影響を大きく受けたものと考えられる。

婚姻件数の大幅な減少と生産年齢人口の減少に伴い、出産適齢期人口も減少していることが要因のひとつと推察される。

【施策① 出会いの支援】

若い世代の人たちが南陽市で結婚し、定住するように、多様な出会いの機会や、男女が体験を共有できる縁結びの場を提供します。

また、若い世代の人たちが、様々な人との交流などに自信を持って取り組むことができるよう、自分磨きの場を提供します。

〔KPI〕

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
34	市主催のお見合い件数	R3～R7平均値	26 件	30	32	37	37	35	117.8%	
35	結婚新生活支援事業の補助件数	R3～R7平均値	0 件	5	10	7	9	9	173.3%	

〈具体的事業〉

結婚推進事業、結婚新生活支援事業ほか。

〈総括〉

南陽市結婚アドバイザーの地道な活動により、目標値を上回る件数を維持している。

結婚新生活支援事業についても、公共施設や窓口にチラシを設置しPRに努めたことで、目標とする値を上回る結果となった。

【施策② 妊娠、出産への支援】

安心して妊娠、出産できるよう、妊産婦やその家族のサポートを強化するとともに、子を持つことへの希望を叶えるよう不妊治療費を助成します。

〔KPI〕

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
36	特定不妊治療助成者の数	R3～R7平均値	20 人	20	25				0.0%	R4以降健康保険適用となったため把握不能。
37	3人っ子妊娠確定前診療者数	単年	39 人	50	31	15	29	29	58.0%	

〈具体的事業〉

妊婦健康診査事業、3人っ子妊娠確定前診療費助成事業ほか。

〈総括〉

コロナ禍により出生数が一段と下がっており(R1:204人 R2:185人 R3:175人 R4:141人 R5:142人)、3人っ子妊娠確定前診療者数も基準値を下回る結果となったが、前年の約2倍に増えている。

なお、特定不妊治療については、令和4年度より健康保険が適用されたことで数値の把握は不可能となったため、KPIから除外する。

【施策③ 安心して子育てできる環境の充実】

社会全体で子育てを応援するため、働きながら子育てしやすい環境づくりを推進するとともに、子育てに係る経済的支援を実施します。

また、子どもの居場所づくりや、高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生を育成し、地域ぐるみで子育てをサポートします。

[KPI]

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
38	第3子以降出生数	単年	32 人	32	31	23	22	22	68.8%	
39	地域子育て支援拠点施設の利用者数	単年	3,383 人	3,500	2,759	2,093	3,787	3,787	108.2%	
40	高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生の数	単年	379 人	400	443	686	702	702	175.5%	

〈具体的事業〉

南陽市子育て推進事業(保育料第3子無料事業、子育て支援医療費給付事業等)、空き家を利用した子育て世代住宅取得支援事業、放課後子ども総合プラン推進事業ほか。

〈総括〉

3人っ子妊娠確定前診療者数と同様に、コロナ禍により一段と出生数が下がったため、3人っ子の出生数も基準値より下がった。

地域子育て支援拠点施設の利用者数については、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類感染症移行により制限がなくなり、基準値及び目標値を上回る結果になった。

高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生の数については、イベント等の開催が徐々に復活し、積極的に参加いただいたことにより増加に繋がった。

基本目標 4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
41	すみやすいと感じる人の割合		68.3 %	70.0					0.0%	令和7年度調査実施予定。
42	これからも住み続けたい人の割合		69.8 %	75.0					0.0%	令和7年度調査実施予定。
43	将来住み続けたいと考える中学生の割合		56.8 %	60.0					0.0%	令和7年度調査実施予定。

※上記数値は、総合計画の策定又は改訂に合わせ、5年に1度調査を実施している。次回は令和7年度を予定。

【施策① 雪に強い地域づくりの推進】

冬季間も安全で快適な市民生活や経済活動を確保するため、除雪体制・除雪支援体制を強化し、雪に強い地域をつくりまします。

[KPI]

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
44	除雪オペレーター担い手支援者数	R4～R7平均値	0 人	5		0	1	0.33	6.7%	

〈具体的事業〉

除雪オペレーター担い手確保支援事業、除雪費支給事業ほか。

〈総括〉

南陽市除雪組合加盟業者32社に案内し、1人が免許等を取得した。建設業全般において若い人材が集まらず、南陽市除雪組合加盟業者(32社)においても同様な状況である。建設業界においての完全週休2日制の導入により、若い人材の確保も期待できると思われることから、引き続き支援制度を宣伝しながら、少しでも多く担い手となる若手オペレーターを確保していく。

【施策② 安全安心な地域づくりの推進】

地域防災体制の充実に向けて災害時における復旧・復興等の機能を強化するとともに、ゼロカーボンシティを目指した取組を進めます。

[KPI]

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
45	自主防災組織率	単年	98.2 %	100.0	98.2	98.4	98.4	98.4	98.4%	
46	防災士の資格取得者数	R3～R7平均値	4 人	4	4	5	7	5	133.3%	
47	LED防犯灯設置率	単年	59.8 %	95.0	83	86.1	91.5	91.5	96.3%	

〈具体的事業〉

安全安心な地域づくり推進事業、自主防災組織推進事業、LED防犯灯整備補助事業、SDGsチャレンジ事業、居住誘導促進事業ほか。

〈総括〉

自主防災組織については、未組織の地区(2地区)へ組織化に向け声かけを行っている。防災士は目標値を上回る7名の取得を達成した。

LED防犯灯設置率については、伸び率は鈍化しているものの順調に上昇しており、ゼロカーボンに向けた取組として必要な事業となっている。

【施策③ 地域の核となる施設の有効活用】

市民の健やかで文化的な生活の実現を図るため、地域の公共施設の利用促進や有効活用を図ります。

[KPI]

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
48	公民館利用者数	単年	99,922 人	114,000	49,110	53,547	66,989	66,989	58.8%	
49	体育施設利用者数	単年	141,839 人	142,000	110,466	138,784	167,944	167,944	118.3%	
50	文化会館利用者数	単年	132,185 人	133,000	88,289	87,184	85,959	85,959	64.6%	

〈具体的事業〉

コミュニティ助成事業、体育施設等利用促進事業、文化会館管理運営事業ほか。

〈総括〉

公民館利用者数について、コロナ禍の影響で利用者数が減少していたが、行動制限がなくなったことに伴い、利用者数は増加傾向にある。

体育施設利用者数について、コロナ禍前の通常の利用状況に戻り、各種大会やスポーツ教室などが通常通り行われたことで、目標値を上回る結果となった。

文化会館利用者数について、子ども対象の興行について、近隣の地域との被りや地区行事等との被りがあり思うような客数を得られなかった。

【施策④ 空き家の利活用の推進】

きめ細やかな空き家・空き店舗の対応と適正管理、有効活用を目指し、空き家に係る問題解決に向けた協働を推進します。

[KPI]

No	基本目標に係る数値目標／各施策に係るKPI	設定期間	基準値(R1)	目標値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	設定期間における値	設定期間における達成率	備考
51	空き家バンク登録家屋の売買等成約件数	R3～R7平均値	3 件	5	8	4	5	6	113.3%	

〈具体的事業〉

空き家に係る問題解決に向けた協働の推進事業、空き家バンク事業ほか。

〈総括〉

市ホームページ、全国版空き家・空き地バンク等を中心としたPRの結果、目標値を達成することができた。空き家対策の有効な手立てとして、更なる普及や啓発に努め利用拡大を図りたい。